

『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を参考に作成してください！

- ① どうやって評価するの？
- ② 評定の出し方は？

ここに書かれているページ数は、『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」のページ数です。

目標は、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」

評価の観点とは、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」

観点別に、A or B or C の評価をします



① どうやって評価するの？

※ 観点別学習状況 (P6)

学習指導要領に示す各教科・科目の目標に基づき、学校が生徒や地域の実態に即して定めた当該教科・科目の目標や内容に照らして、その実現状況を**観点ごとに**評価し記入する。

- 「十分満足できる」状況と判断されるもの:A
- 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの:B
- 「努力を要する」状況と判断されるもの:C のよう区別して評価を記入する。



② 評定の出し方は？

※ 評定 (P6)

学習指導要領に示す各教科・科目の目標に基づき、学校が生徒や地域の実態に即して定めた当該教科・科目の目標や内容に照らして、その実現状況を**総括的に**評価して、

- 「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの:5
 - 「十分満足できる」状況と判断されるもの:4
 - 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの:3
 - 「努力を要する」状況と判断されるもの:2
 - 「努力を要すると判断されるもののうち、特に程度が低い」状況と判断されるもの:1
- のよう区別して評価を記入する。



※ 観点別学習状況の評価の評定への総括 (P18)

- 各観点別の評価結果をA,B,Cの組合せ
または、
- A,B,Cを数値で表したものに基づいて総括する

その結果を5段階で表す。

A,B,Cの組合せから評定に総括する場合、
 「BBB」であれば、3を基本
 「AAA」であれば、5or4
 「CCC」であれば、2or1 とするのが適当である。

それ以外の場合は、各観点のA,B,Cの数の組合せから適切に評定することができるよう
あらかじめ各学校において決めておく必要がある。

Ver.1に記載していたように、原則「C」の生徒が出ないように、授業改善、個別指導等が必要です！

ここが大切です！

「ABA」は、4？「BAB」は、3？各学校で決めておく必要があります！

日々の授業では・・・

生徒の既存の知識や技能を評価するのではなく、指導したことを評価します。

経験値で評価するのではなく、生徒の日々の活動を、評価規準に基づいて評価します。

本人や保護者への説明責任を果たすためにも、評価規準に基づいて評価する内容は、記録に残すことが必要です。

